

出雲商工会議所管内 業種別景況（平成30年1月～3月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				前期(平成29年10月～12月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				今期(平成30年1月～3月期)と比べた 来期(平成30年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	35.7	32.1	32.1	3.6	19.3	26.3	54.4	△ 35.1	42.1	33.3	24.6	17.5
2 採 算	23.2	55.4	21.4	1.8	14.0	57.9	28.1	△ 14.0	28.1	50.9	21.1	7.0
3 仕 入 単 価	37.7	58.5	3.8	34.0	24.1	74.1	1.9	22.2	25.9	68.5	5.6	20.4
4 従 業 員 数					3.6	87.3	9.1	△ 5.5	9.1	87.3	3.6	5.5
5 資 金 繰 り					5.4	85.7	8.9	△ 3.6	8.9	83.9	7.1	1.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		21.1	59.6	19.3		1.8		38.6	38.6		22.8	15.8		1.8

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	29.8	3.5	7.0	40.4	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	14.0	14.0	5.3	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	1.8	7.0	10.5	19.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	7.0	7.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	3.5	3.5	1.8	8.8	10 事 業 資 金 の 確 保 難	3.5	8.8	3.5	15.8
4 原 材 料 高 及 び 不 足	3.5	7.0	15.8	26.3	11 需 要 の 停 滞	5.3	19.3	3.5	28.1
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	3.5	1.8	0.0	5.3	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	15.8	5.3	3.5	24.6	13 そ の 他	7.0	1.8	3.5	12.3
7 人 件 費 の 増 加	5.3	7.0	8.8	21.1	無 回 答	7.0	21.1	29.8	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				前期(平成29年10月～12月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				今期(平成30年1月～3月期)と比べた 来期(平成30年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	14.3	57.1	28.6	△ 14.3	37.5	12.5	50.0	△ 12.5	37.5	50.0	12.5	25.0
2 採 算	0.0	57.1	42.9	△ 42.9	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	37.5	50.0	12.5	25.0
3 仕 入 単 価	28.6	71.4	0.0	28.6	25.0	75.0	0.0	25.0	12.5	75.0	12.5	0.0
4 従 業 員 数					0.0	87.5	12.5	△ 12.5	12.5	87.5	0.0	12.5
5 資 金 繰 り					0.0	87.5	12.5	△ 12.5	12.5	87.5	0.0	12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		12.5	75.0	12.5		0.0		12.5	50.0		37.5	△ 25.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	55.6	11.1	0.0	66.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.1	22.2	0.0	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	11.1	0.0	11.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	22.2	22.2
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	11.1	0.0	11.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	11.1	0.0	11.1	11 需 要 の 停 滞	11.1	22.2	0.0	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	11.1	0.0	0.0	11.1	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	11.1	0.0	0.0	11.1	13 そ の 他	0.0	0.0	22.2	22.2
7 人 件 費 の 増 加	0.0	11.1	22.2	33.3	無 回 答	0.0	0.0	33.3	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 生産性向上の取り組みを継続して行っている。

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				前期(平成29年10月～12月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				今期(平成30年1月～3月期)と比べた 来期(平成30年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	29.4	17.6	52.9	△ 23.5	23.5	17.6	58.8	△ 35.3	41.2	29.4	29.4	11.8
2 採 算	11.8	52.9	35.3	△ 23.5	11.8	41.2	47.1	△ 35.3	11.8	58.8	29.4	△ 17.6
3 仕 入 単 価	29.4	58.8	11.8	17.6	23.5	70.6	5.9	17.6	23.5	76.5	0.0	23.5
4 従 業 員 数					0.0	100.0	0.0	0.0	5.9	94.1	0.0	5.9
5 資 金 繰 り					11.8	76.5	11.8	0.0	5.9	82.4	11.8	△ 5.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		11.8	52.9	35.3		△ 23.5		35.3	35.3		29.4	5.9		6.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	50.0	0.0	12.5	62.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	18.8	12.5	12.5	43.8
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	6.3	6.3	18.8	31.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	12.5	12.5
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	6.3	6.3	6.3	18.8	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	18.8	0.0	18.8
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	6.3	6.3	12.5	11 需 要 の 停 滞	0.0	37.5	6.3	43.8
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	6.3	6.3	12.5	25.0	13 そ の 他	6.3	6.3	0.0	12.5
7 人 件 費 の 増 加	6.3	0.0	6.3	12.5	無 回 答	0.0	0.0	6.3	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 業界全体の売上が減少している。
- ・ 販路を開拓するために大型店や他店との差別化を図っている。
- ・ 設備を新設したいが、リスクが大きすぎる。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				前期(平成29年10月～12月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				今期(平成30年1月～3月期)と比べた 来期(平成30年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	41.7	16.7	41.7	0.0	0.0	33.3	66.7	△ 66.7	41.7	50.0	8.3	33.3
2 採 算	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	91.7	8.3	△ 8.3	25.0	75.0	0.0	25.0
3 仕 入 単 価	75.0	25.0	0.0	75.0	41.7	58.3	0.0	41.7	41.7	41.7	16.7	25.0
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	81.8	18.2	△ 18.2	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	0.0	100.0	0.0	0.0	9.1	90.9	0.0	9.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	83.3	0.0		16.7		50.0	41.7		8.3	41.7		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	8.3	8.3	8.3	25.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	16.7	25.0	0.0	41.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	8.3	8.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	8.3	0.0	0.0	8.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	8.3	8.3	0.0	16.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	16.7	16.7	41.7	75.0	11 需 要 の 停 滞	8.3	8.3	8.3	25.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	16.7	8.3	0.0	25.0	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	8.3	0.0	8.3	16.7	無 回 答	8.3	25.0	25.0	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ ビール等種類の値上がりがあり、価格の見直しを行った。
- ・ 団体客の獲得のための宣伝方法や内容の充実を見直し予定。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				前期(平成29年10月～12月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				今期(平成30年1月～3月期)と比べた 来期(平成30年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	35.7	50.0	14.3	21.4	28.6	35.7	35.7	△ 7.1	35.7	21.4	42.9	△ 7.1
2 採算	28.6	50.0	21.4	7.1	21.4	42.9	35.7	△ 14.3	35.7	28.6	35.7	0.0
3 仕入単価	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	16.7
4 従業員数	/	/	/	/	7.7	84.6	7.7	0.0	0.0	84.6	15.4	△ 15.4
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	85.7	14.3	△ 14.3	7.1	85.7	7.1	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		28.6	50.0	21.4		7.1		42.9	42.9		14.3	28.6		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	6.7	0.0	6.7	13.3	8 設備店舗の狭小・老朽化	13.3	6.7	0.0	20.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	13.3	13.3	26.7	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	6.7	0.0	0.0	6.7
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	13.3	13.3	11 需要の停滞	6.7	6.7	0.0	13.3
5 在庫製品・商品の過剰	6.7	6.7	0.0	13.3	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	20.0	6.7	0.0	26.7	13 その他	13.3	0.0	0.0	13.3
7 人件費の増加	6.7	6.7	6.7	20.0	無回答	20.0	53.3	60.0	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ AI化が進み、効率のアップが図れている。
- ・ イベント等に参加して新たな顧客の獲得を図る。
- ・ 民博規制の緩和や県のインバウンド施策など外部環境の変化に対応する必要がある。

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				前期(平成29年10月～12月期)と比べた 今期(平成30年1月～3月期)の状況				今期(平成30年1月～3月期)と比べた 来期(平成30年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7	△ 66.7	66.7	16.7	16.7	50.0
2 採算	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	50.0	33.3	16.7	33.3
3 仕入単価	40.0	60.0	0.0	40.0	0.0	100.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	40.0
4 従業員数	△	△	△	△	16.7	66.7	16.7	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
5 資金繰り	△	△	△	△	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	66.7	16.7	0.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		50.0	33.3	16.7		33.3		50.0	16.7		33.3	16.7		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	40.0	0.0	0.0	40.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	20.0	20.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	20.0	0.0	20.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	40.0	40.0
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	20.0	20.0	11 需要の停滞	0.0	20.0	0.0	20.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	40.0	0.0	0.0	40.0	13 その他	20.0	0.0	0.0	20.0
7 人件費の増加	0.0	40.0	0.0	40.0	無回答	0.0	20.0	20.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 人手不足で受注できない。
- ・ 年度末の受注が減少している。